



**国際助産師連盟  
加盟団体能力評価ツール(MACAT)  
使用法のガイドライン  
International Confederation of Midwives  
Member Association Capacity Assessment Tool (MACAT)  
Guidelines for Use**

## A. はじめに

国際助産師連盟のミッションは、女性のリプロダクティブ・ヘルスおよび新生児と家族の健康増進をはかるため、出産を迎える女性にとって、そして出産を正常に保つということにおいて、最適なケアを提供する助産師の自律性を促進することにより、世界的に助産の専門性の向上を図ることである。

加盟団体能力評価ツール(Member Association Capacity Assessment Tool : MACAT)は、加盟団体の強みを評価するひとつの方法である。強い団体は、組織目標を達成することができる。評価の目的は、団体を強化するために実施すべき活動を含め、自らのニーズを明らかにすることである。どのような活動を行うべきかを決定する枠組みが、このツールにより明らかになる。団体の弱点について論じるものではない。

## B. 誰が MACAT を実施すべきか

1. 次のようなさまざまな人の組み合わせによって代表される団体自身
  - a. 団体の関係者全員から成る小委員会。関係者全員による完全な団体像を把握することができる。
  - b. 団体の執行委員会/事務局を含む小委員会。資金的に可能なら、プロセスの進め方について、委員会は外部コンサルタントの助言を得ることができる。コンサルタントの存在は任意である。
  - c. 団体のスタッフやボランティア。スタッフとボランティアがいて、評価を実施する場合は、どのように、何を評価するのかを明確にするために、団体と機能についてのオリエンテーションを受ける。
2. 外部コンサルタントは、すべての書類を閲覧でき、会員や団体の関係者に接触できる。非会員コンサルタントは、団体のために外部目標を提供する。
3. より多くの情報や具体的な反応を集めるために、フォーカスグループによる話し合いの場を設定することができる。

## C. MACAT 実施方法

MACAT の実施は、7つのセクションに分かれる一連の項目に答えることを含む。一部の情報については、団体の記録と書類からわかる。評価開始時にそれらを入手しておくことが重要である。

ステップ 1：評価を行うために、セクション B に記載されている集団やコンサルタントを選択する。団体の目的の説明と手順が回答者に伝えられる。団体の強化に必要な活動に回答がどう直結するのか、回答者が理解しやすいようにする。

ステップ 2：ツールのオリエンテーションのために、ひとつのセクションを試しに行い、各セクションの項目の回答からどのような情報が得られるかを示す。

ステップ 3：全評価を実行する。たとえば、各セクションの全項目に正直に客観的に回答する。全項目が団体の重要な面を表しているので、全項目に答えることが重要である。

## D. 項目の答え方

各セクションにはサブセクションと各サブセクションの項目がある。

例：

- ・セクション A：ガバナンス

    サブセクション a1：理事会

        項目：団体には規約や定款による理事会や執行委員会がある

期待される答え：「はい」「いいえ」「該当せず」

回答者は該当する答えにチェックを入れる。

追加コメント：

「はい」と「いいえ」の答えが適切でない場合、回答者が追加コメント、説明、情報を記載できるよう、ツールの中にスペースが提供されている。

## E. 結果の解釈

「いいえ」と「該当せず」にチェックをした領域は注意が必要である。強化のための介入の基となる団体のニーズを示すものとして、これらの領域をまとめて分析する。

## F. 介入法の開発

結果を以下のために用いる。

- a. 団体の強化のために、やるべきこと（ニーズ）のリストを作成する。
- b. 団体が自身でできることと外部支援が必要なことによって、ニーズを分類する。
- c. ニーズの優先順位をつける。
- d. 団体の戦略・活動計画および外部支援の要請案を、優先順位をつけて伝える。

## G. 示唆されるアプローチ

MACAT は7つのセクションに分類される。団体は、1回にひとつのセクションを選択することがで

きる。たとえば、団体はガバナンスから開始できる。これは、団体がガバナンスの項目に応えることを意味する。別のセクションに移る前に、ガバナンスの活動と業務の強化をはかる。

## H. モニタリングと評価

強化のための介入を実施してから 1-2 年が過ぎたら、フォローアップすることが奨励される。MACAT を再度実施し、1 回目と 2 回目の結果を比較することによってフォローアップが可能である。

## 各セクションで用いられている用語の説明

<b>セクションA： ガバナンス</b> このセクションでは、プロセスと方向性に関して、団体の構造と機能をみている	
<b>理事会/執行委員会</b>	会員の代わりに活動するために、会員によって任命された人の集団。理事会または執行委員会は通常、委員長、副委員長、幹事、監事から成る。規約で定められた一定期間のために選出される。理事会や執行委員会の用語は同じ意味で使うことができる。
<b>目標</b>	目標は、特有の、測定・達成可能で、現実的な、時期目標のある、目指す方向性への達成または結果である。
<b>ガバナンス</b>	団体の実施や管理の方法に影響する一連のプロセス、慣習、方針、法。
<b>法的な立場</b>	団体は、厚生労働省などの機関および登録機関に法的に認められている。ほとんどの助産師団体は非営利組織として登録されている。
<b>ミッションの声明文</b>	効果的な計画の基となる組織の基本的な目的を示した短い記述。
<b>戦略計画</b>	何の組織で何をなぜするのか、について、将来に焦点を当てて明らかにし、導く基本的な決定と活動の策定過程。意図的な目標設定と目標達成方法の開発を含む。会員や関係者の意見を取り入れられれば理想的である。
<b>ビジョンの声明文</b>	望ましい成果がすべて達成されたと仮定したときの団体の今後の方針。ビジョンは、団体のすべての戦略計画の枠組みを提供する。

<b>セクションB：業務のマネジメントとリーダーシップ</b> このセクションでは、団体のリーダーシップ、運営管理方法およびスタッフ機能の構成についてみている	
<b>説明責任</b>	自身の行為の責任、回答能力、非難対象、法的責任などの概念と同義語。
<b>権限</b>	法的または正当な権力。
<b>人材</b>	団体の労働力となる個人、スタッフ。
<b>基盤（インフラ）</b>	団体が機能するのに必要な物理的および団体の構造。これらの構造には適切な事務所のスペース、家具、設備、電子メール、電話、インターネットなど通信システムへのアクセスが含まれる。
<b>リーダーシップ</b>	共通の目標を達成するための集団を組織すること
<b>マネジメント</b>	事業や運営の計画と組織化、業務や手続きの割り当てや指示。マネジメントではシステムと構造に焦点を当てる。

<b>セクション C：資金管理</b>	
このセクションでは、団体の財務状況、管理方法と実行可能性についてみている	
会計	決済や資金面のイベントの記録、分類、まとめ
予算	すべての計画された出費と歳入のリスト。予算とは、いくら利用可能で、どのように使い、最善の分配法の計画をたてることについて、理解することである。

<b>セクション D：機能</b>	
このセクションでは、会員、助産実践、女性と子どもとその家族の健康を向上させるために、団体が実際に行なっていることについてみている	
専門的な実践の向上	専門職の信念に従い、それによって卓越した文化を形成する助産実践を保証する。これには、助産師全員の実践行動に影響を与える、明確な価値観と基準が必要である（2005年 Girard 採択文書）。
アドボカシー	政治的、経済的、社会的システムや機関の中で、公共政策と資源分配の決定に影響を与えることを目的とする。
質と質保証	卓越性の測定尺度。質保証は、同意を得ている基準に照らし合わせた事業、サービス、施設のさまざまな面の体系的なモニタリングと評価のプログラムのことである。

<b>セクション E：連携、パートナーシップ、ネットワーク</b>	
このセクションでは、医療専門職、医療制度などの中での団体の位置づけについてみている	
連携	複数の人や組織が、共通の目標の利益のために協働するプロセス。
ネットワーク	相互につながったグループ。
パートナーシップ	特定の目標を達成するための相互協力や責任によって、特徴づけられる個人や集団の関係。

<b>セクション F：メディアとの関係</b>	
このセクションでは、団体の存在の示し方や知名度についてみている	
広報	団体が好ましい形で、タイムリーに幅広く取り上げられやすいようにするメディアとのつながり。
可視性	団体の存在とアクセスのしやすさのレベル。

<b>セクション G：持続可能性</b>	
このセクションでは、団体の長期的および将来の可能性についてみている	
資源動員	資源を得て、目標達成に向けて人に動員する団体の能力（2006年

	Kendall,採択文書)。
持続可能性	可視性を現在および将来も保つための団体の継続的な開発（「受託責任」と、適切に設定された目標）

(公社) 日本看護協会・(社) 日本助産師会・日本助産学会訳

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in retrieval system, or transmitted in any form without written permission of the International Confederation of Midwives. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated and that the ICM be informed.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際助産師連盟 (ICM) から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の転載を禁じます。ただし、短い引用 (300 語未満) に関して、許可は不要ですが、その場合は出典を明記し、ICM へご連絡ください。

Copyright © (2010) by ICM- International Confederation of Midwives,  
Laan van Meerdervoort 70, 2517 AN The Hague, The Netherlands